



# 野女っ子『野田女子高校だより』

第1号 平成25年4月24日(通巻33号)  
鹿児島県出水市野田町下名 5454  
Tel 0996-84-2074 Fax 84-2161  
鹿児島県立野田女子高等学校

<http://www.edu.pref.kagoshima.jp/sh/noda/top.html>



## 入学おめでとう！ 本科第50回 専攻科第43回入学式

4月9日(火) 鮮やかなツツジが咲きほこる中、本科第50回 専攻科第43回入学式が行われ、本科91名、専攻科27名の新生が入学しました。高原正幸PTA会長より「自分の選択に責任を持ち、教育を受けさせてもらえるということに感謝の気持ちをお忘れなでほしい。高校生としてエネルギーにあふれた学校生活を送るために、勉強、部活動、学校行事に励んでください。」という祝辞をいただきました。式終了後、学級にて、ホームルームが行われました。



入学式



LHR



### 理想を追い求めて

校長 富山 裕子

昭和23年、鹿児島県西長島高校分校として創立されました鹿児島県立野田女子高等学校は、今年度で学校創立65年目を迎え、幾多の変遷を経ながら今日に至っています。現在は充実した専門教育を担う県立唯一の女子高校として、また、調理師養成施設及び5年一貫の看護師養成施設として厚生労働省の指定を受けている等、特色ある教育活動を展開しており、県下一円に止まらず近隣県からの入学生も受け入れ、いよいよ確実な歩みを進めています。

本校は「自立 誠心 共生」を校訓に掲げ、「礼節を重んじ、自己の言動に責任を持ち『自ら生きる』力を育て」「社会の規則を守り、こころ豊かな人間としての態度を育て」「生命を尊び、心身ともに健康でたくましく、ともに生きること」を目指しています。これらのことは、校章の由来や校歌の歌詞に託されていることと相まって、これからの野田女子高等学校生のあるべき方向を掲げたものといえます。

冷たい季節がようやく遠のいたと感じられるようになった途端に、一気に咲き誇った桜がすっかり葉桜となりつつも、芽吹いた若葉の緑と名残の花の色が柔らかな調和を醸し出す頃、真新しい制服を身にまとった91名の初々しい本科生と、伝統ある制服を凛として着こなした専攻科生27名の新生、定期人事異動により転入した15名の教職員を迎え新年度がスタートしました。

本科並びに専攻科入学の皆さん、ご入学おめでとうございます。校歌に「…学舎に光舞い匂いて 咲き映えむすがすがし花雛…」という歌詞があります。私は、このフレーズを口ずさむ度に、誇り高き野田女子高等学校生が目指すべき「品格ある姿」を思い浮かべます。この春、長い伝統に培われた野田女子高等学校に入学された皆さん、みんなで心を合わせ、理想を追い求めつつ、さらに新たな伝統を築くべく、力強い第一歩を踏み出しましょう。

本校の教育活動推進のために、保護者や地域の皆さまの一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

## 新任者紹介 15名の新しい職員が転入しました。どうぞよろしくお願ひします。

こやましようよう 小山昭洋 (教頭)	にのみや ひろし 二宮 浩 (事務長)	まつがわあさこ 松川亜沙子 (国語)	うえかまよりこ 上釜代利子 (保健体育)
うとこうき 宇都康希 (英語)	ひがし まりこ 東 真理子 (看護)	あきやまひろこ 秋山浩子 (看護)	たけぞえはるお 竹添春生 (事務)
ほしはらみか 星原未佳 (事務)	ふちがみ 渕上あゆみ (理科)	ひらもときみこ 平元公子 (調理)	ひらたのぶよし 平田信義 (保健体育)
ありむられいこ 有村麗子 (保育)	かりや 假屋なるみ (就職支援)	おちあい か よこ 落合加代子 (進路)	



# 平成25年2月7日～2月15日に実施された「学校関係者評価委員による評価」

評価基準 A～十分達成 B～課題はあるがおおむね良い

	評価の観点	評価資料等	評価	所見
1	学校は経営方針及び具体的教育目標に準じて適切に運営されているか。	学校案内等委員会資料	A	なし
2	自己評価・外部アンケートの結果内容は適切であるか。	自己評価・外部アンケート	B	生徒の自己評価に教師の自己評価にあるような生徒指導的な項目もあった方がよい。
3	自己評価・外部アンケートの結果内容は適切であるか。	自己評価・外部アンケート集計表	A	チャイムと同時に一斉に授業が始められるような学校であってほしい。
4	地域に開かれ、地域に信頼される学校であったか。	学校行事の参加人数等	A	校外での生活で気になる点を少しでも減らすことができると地域からの信頼も高くなると思う。
5	生徒一人ひとりが伸び伸びと活動し、活気に満ちた学校であったか。	自己評価・外部アンケート集計表・授業参観	A	なし
6	職員が使命感と責任感を持って生徒の指導に当たったか。	自己評価・外部アンケート集計表	A	職員の使命感が、生徒の向学心を超えて頑張っているという感じを行事の場で感じる。
7	学校は特色ある活動をPRする方策を行ったか。	学校だより・ホームページ等委員会資料	A	なし
8	保護者（PTA）の協力は得られたか。	PTA活動参加者人数委員会資料	A	地区によって参加にばらつきがあるので改善が必要である。
9	関係機関及び近隣の小・中学校との連携は図られたか。	各種事業等の実施記録等	A	中学校との連携をより進めてほしい。

## 学校の現時点での課題

## 課題に対する改善策（予定）

- |  |  |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>○入学者の定員の確保</li> <li>○隅々までの清掃活動の徹底</li> <li>○新制服の着こなしの定着</li> <li>○安心・安全な学校づくりの推進</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○本校の特色ある授業内容をPRし、出前授業等を通して定員確保に努める。</li> <li>○清掃にとりかかる時間を守る。清掃の指導・監督の徹底を図る。</li> <li>○新制服の不具合を改善し、品格ある着こなしを定着させる。</li> <li>○職員が常に危機管理を意識し、事故を未然に防ぐ方策を実践する。</li> </ul> |
|--|--|

## 外部評価委員会の委員からの助言等

- 自宅学習の定着が図れるように、教科書の持ち帰りの指導を図ること。
- 本年度は、就職支援委員の活動の成果が出ている。就職支援員が引き続き来年度も要請できるように努力をしてほしい。また先生方も引き続き生徒への指導をお願いしたい。
- 考査前の成績不振者に対する勉強会の設定などに力を入れていることを、他の参考にできる。
- 能力はあるが意欲がない。意欲はあるが基礎学力が不十分と、それぞれ学年の特徴があるようです。実態に合った適切な指導が望まれる。
- 学校便りを月ごとに発行できれば、中学生が見る機会が増えると期待できる。
- 高校の資格取得や部活動の活躍も中学生の進路決定の際に大いに参考になる。



## 対面式・新入生オリエンテーション開催

四月十一日（木）、生徒会・自治会の対面式・新入生オリエンテーションが行われました。対面式では、学校長あいさつの後、本科生代表・専攻科生代表が新入生へ歓迎のことばを送りました。そして新入生代表がこれからの決意を述べました。続いて生徒会執行部より校章の由来について説明がありました。新入生オリエンテーションでは生徒会執行部による各専門委員会の紹介後部活動紹介を行いました。



対面式の様子



## 看護師国家試験全員合格

三月二十五日（月）、看護師国家試験の合格発表があり、本校専攻科からの受験者全員、無事合格することができました。おめでとうございます。